



令和7年11月号 VOL.92
情報メディア教育センター



(@emc_szk) • Instagram



11月のお菓子と言えば「亥の子餅」。無病息災を願って亥の月最初の亥の日・亥の刻（今年は11月2日の9時～11時）に食べられるお菓子です。その歴史は古く、平安時代から続いており、『源氏物語』にも記載があります。「亥」とついているだけあって、ウリ坊のようにコロンとしていて、とてもカワイイこのお菓子、桑名の花乃舎さんでは、この季節いつも店頭に並ぶわけでないそうなので、並んでいたらラッキーです♪



読欲の秋

イレカワ小説は秋の読覧！

スイーツもね♪

「イレカワ小説」とは、誰かと誰かが入れ替わる小説のこと。男女の体が入れ替わり、しかもそれが好きな子だったなら…これ以上は言えませんっ！

『おれがあいつで あいつがおれで』

山中恒/著 KADOKAWA

元祖！
1980年出版

イレカワ小説の
パイオニア的小説。
小学生の同級生男
女が入れ替わり、
ドキドキ・ウハウ
ハな物語。



新海印のこの小説
は、前評判はイマ
イチでしたが、映
画公開後は大ヒッ
ト！高校生男女の
中身が入れ替わり
、パラレルや惑星
衝突をぶち込んだ
壮大な物語！

『君の名は。』

深海誠/著
KADOKAWA文庫



さつま芋に、カボチャも
栗までぶち込んだ長久
の鬼まんじゅうがお似合
いです！



「小原木本舗大徳屋長久」

鬼まんじゅう



『パパとムスメ の7日間』

五十嵐貴久/著
朝日新聞出版

父と思春期の娘の中身
が入れ替わった！
娘「ギャーツ」
ご想像通りのしっちゃか
めっちゃか作品。

生クリームに黄な粉が乱入！
生クリーム「ギャーツ」
でも意外とマッチして大福うまっ



「岩嶋屋」すきすき大福
(黄な粉クリーム)



『君の顔では泣けない』

君嶋彼方/著 KADOKAWA



高校の同級生男女が入れ替
わった後、元に戻らないま
まの15年間の物語。コメ
ディ色が強いイレカワ小説
の中でひとときわシリアス感、
リアル感が強いこの作品。
本当の自分を見せることが
出来ない苦しさを、リアル
に描いています。人生って
苦しい…この秋の矢田推し！

『魔法律学校の麗人執事1』

新川帆立/著 幻冬舎



貧乏修道院を救うた
め御曹司の執事にな
れ！女子高生が男子
として魔法律学校に
入学し活躍するとい
う始まったばかりの
この小説は、イレカ
ワ小説の新しい形…
なのか？

みたらし団子味のシェイク。
しかも白玉入り。スイーツの
新しい形…なのか？



「タリーズ」
もちもちみたらし
団子シェイク

『chocolaterie4』

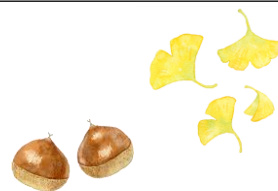
チョコレート・サンド（ビター）



チョコサンドなのに甘
くない、全体に苦味が
効いたビターチョコサ
ンドがピッタリ！
最近の矢田推しです。



新着図書ピックアップ

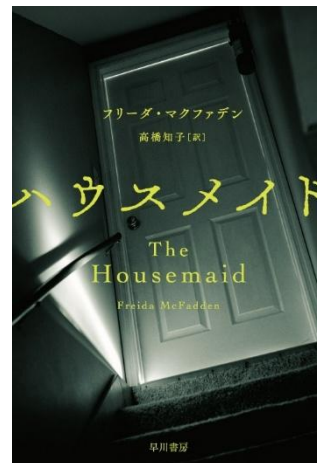


新着ピックアップは毎月、司書が「これは、ぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

『ハウスメイド』

フリーダ・マクファデン【著】 早川書房

前科持ちの主人公・ミリーが出所後ありつけた仕事は住み込みのハウスメイド。屋根裏の小部屋を住まいとして与えられるが、まずはこの部屋がなんか変。小さな窓は開けられず、ドアは外から鍵がかかるようになっている。よく見るとドアの内側には無数の細かい傷…違和感を感じつつも、やっと受かった仕事なので一生懸命働くが、徐々にこの家の住人の秘密を知ることになる。よくある家政婦さんが活躍して問題を解決する話ね、と思った方、それだけでは終わりません！全米大ヒット中であまりの人気に続編も予定されているとか。（大塚）



『しかもふたがない』

ヨシタケシンスケ【著】 筑摩書房

ヨシタケさんの絵本を小さいころから読んできた方、多いのではないのでしょうか。可愛くて純粋で、時にはイタズラや鋭い視点があったり。親しみやすいキャラクターや絵で空気感まで伝えてくれる感じが魅力です。そんなステキな本を送り出し続けている著者のデビュー作。まるで頭ん中を覗いてみているかのような、視点とスケッチがずりりたくさん。一つの絵とコメントで細かいニュアンスまで絶妙に伝わり、クスクス笑えます。お気に入りの場面や絵を見つけてみてほしいです。（大原）



ちくま文庫

『殺し屋の営業術』

野宮 有【著】 講談社

ノルマは2週間で2億円！ブラック企業を渡り歩き、各企業でトップ営業マンとして生きてきた主人公・鳥井。ある日、営業先で殺人事件に遭遇し、殺されるところを巧みな営業トークで回避、その犯人たちの勤める（？）殺人請負会社の営業として転職してしまう。ちょっとずれた感覚ながら、真面目に人生を歩んできた鳥井ですが、裏企業に就職したことでどんどん落ちていく様子が面白い。ノルマ達成できなければ全員まとめて殺されるというピンチを鳥井は回避できるのか？最後まで気が抜けません！（矢田）



EMCでは新着図書を「ブックログ」で紹介しています。

「ブックログ」トップページ ▶ カテゴリー ▶ 2025年10月新着

⇒<https://booklog.jp/users/suzukakyoeilib>

今月の新着本は 12月配架（貸出開始）予定です。



一周まわって読書が“だだくさ”になってきた
藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.84

『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』

かまど・みくのしん【著】大和書房



11月の 開館予定

11月		
1	土	休館
2	日	休館
3	月	休館
4	火	8:10-17:50
5	水	8:10-17:50
6	木	8:10-17:50
7	金	8:10-17:50
8	土	休館
9	日	休館
10	月	8:10-17:50
11	火	8:10-17:50
12	水	8:10-17:50
13	木	8:10-17:50
14	金	8:10-17:50
15	土	休館
16	日	休館
17	月	8:10-17:50
18	火	8:10-17:50
19	水	8:10-17:50
20	木	8:10-17:50
21	金	8:10-17:50
22	土	休館
23	日	休館
24	月	休館
25	火	8:10-18:50
26	水	8:10-18:50
27	木	8:10-18:50
28	金	8:10-18:50
29	土	休館
30	日	休館

先月のEMC News Letterで紹介しました小説『ザ・ロイヤルファミリー』のドラマ（日曜夜9時）がついに始まりました。これまで、日曜日の特に夜は翌日仕事なので…な気分でしたが、何か楽しみがあると、日曜夜の気分も変わるものですね。ドラマの視聴率も上々なようで、このドラマがきっかけで競馬に興味を持つ人が増えればいいな(^^)なんて思っています。

さて、今回紹介する本は、完全にタイトルに惹かれ手に取りました。『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』まさに自分にそっくり。ちなみに私に置き換えると「本を読んだことがない29歳がはじめて本を読む」でした。このEMC News Letterで私が本を紹介するコーナーが始まったのは、EMCが開館した2017年、この部署に配属された私が生涯1冊も本を読んだことない事実を知った当時の司書さんに半ば強制的にこのコーナーがつくられました。通算100冊を達成したら解放されるとのことなので、あともう少しです(*_*)Vol.100を超えても書き続けていたら察してください。

そんな私のような境遇のタイトル本を読まないわけにはいきませんよね。

「生まれて一度も読書したことがない成人男性（ライターなのに文字を読むことが苦手で、本を読んでこなかった：みくのしんさん）が本を読んだら、一体どうなるんだろう」

その記事がインターネット上で爆発的に拡散され、100万人の目に留まる大ヒット記事となり、その結果、一冊の本になったそうです。ライターのみくのしんさんの感受性豊かな楽しい読書体験を、同じくライターのかまどさんがまとめた本で、これまで読書をしてこなかった人に読書の大切さ伝える内容ではありませんでした。これ以上書くことがなくなり困り果てた私は残りの文字数を埋めるため、趣味が読書の方々のAmazonレビューをチラ見いや、ガン見したところ、「!」といったレビューがたくさんありました。読書をたくさんする方には、みくのしんさんの内容の受け取り方の凄さを感じることができる本のようです。

生涯読破冊数0冊の方、今のうちに0冊を脱却しませんか？ EMCには司書さんが魂込めて選書したオモシロい本がたくさん配架されています。読書の秋を楽しみませんか。

『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』
かまど・みくのしん【著】大和書房



第17回 青木 裕義先生おすすめ

『嫌われる勇気』

岸見一郎、古賀史健【著】ダイヤモンド社

様々な悩みを抱く青年と対話形式で『アドラー心理学』を伝えていく哲人が“友人”になっていく本です。『宇宙のなかにただひとり生きることができれば、悩みはなくなる』これだけを見ると横暴な心理学に聞こえますが、読み進めていくと今思ったことと違った考えになることでしょう。今の自分に自信がない人、人間関係で悩んでいる人、1歩前に踏み出したい人。この本を読んで、ぜひ“勇気”の本当の意味を考えてみませんか。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどこに渡るかな？

今月の本棚

Books
on our shelves

イラストデザイン部×EMCコラボ企画 秋の恋愛特集 ～すれ違う二人～

今月の特集棚は、イラスト部さんとのコラボ企画！ ”すれ違う二人”と題して選んだ本にちなんだ絵をホワイトボード（ほぼ等身大!!）に描いてくれました。せつない秋にぴったりのタイトル。せつなくない秋を過ごしているに違いないステキな部員さん達に描いて頂きました！どんな絵になるでしょうか。お楽しみに～。

本選び

この目は、
描くの難し
そう～

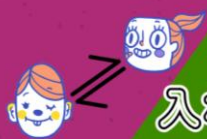
描き中

この本、気に
なっていた♪

等身大もホワイト
ボードも得意です

＼カウンター前で展示中／

同時
開催



誰かと誰かが
入れ替わる？!

イレカワ小説

図書館からのお知らせ

- 期末考査のため11月25日～12月4日の期間、開館時間を18：50まで延長します。
- 3階はポップコンテストのポップを展示中（中等3年生＆高校2年生の作品）です。
- おなじみEMCのツリー早くも飾る！予定！

編集後記 暑い日が長～くて秋冬がくるのか！？と思っていましたが、やっと来た。
秋好きには嬉しい季節です。四季ありがたや。（大原）

紅葉狩りし
たいなあ

